


















## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	ダイバーシティ&インクルージョンの考えに基づき、雇用や昇進・評価体制、教育体制の平等を重んじる体制整備を実施しており、経営トップが関与している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8				10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント禁止について就業規則に明記している。産休・育休制度を設けており、従業員の理解が得られている。研修を実施し、ハラスメントの撲滅に努めている。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8										16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法の改正を経営陣が理解している。総労働時間管理については厳正に行い、長時間労働を発生させない為の労働生産性の改善、多様な働き方に対応する勤務ルールの整備を行っている。											8.5 8.8										
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	自社で雇用はないものの、取引先に勤務する外国人労働者がいることから、差別・人権侵害について、自社で研修を実施している。				4.4							8.7 8.8				10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	業務上、自動車を運転する時間が長い為、交通事故発生ポイントなどを会議で共有し、安全運転の励行に努めている。【予定】全従業員の営業車両にドライブレコーダーを設置する。				3							8										
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに対する方針と計画を策定している。【予定】メンタルヘルスに対応する休職規定を整備する。				3																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	AI、IoTの発展に対応できる様、高齢従業員に対するフォロー体制、研修等の整備を行っている。【予定】女性・高齢従業員の活躍状況・働き方をHP上で紹介する。					5.1 5.5						8.5				10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	毎年、教育プログラムを策定し、各従業員が職務や役割に応じた活躍が出来る様、研修を実施・提供している。				4	5.5						8	9									
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の内容を経営陣が理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った賃金形態・体制の整備を行っている。					5.5						8.5				10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康経営の内容について役員の理解が浸透している。【予定】健康経営優良法人認定制度を2020年度に取得する。				3							8										
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	本業に付随して発生する廃棄物は紙が主なものであるが、ペーパーレス化を推進しており、社内会議やお客様への募集活動等で紙の使用を削減している。														11.6	12.4			14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電力使用量を把握し、省エネに関する取組を行っている。また、従業員に対してエコドライブの徹底を行い、温室効果ガス排出量の削減に努めている。【予定】毎月走行距離と給油量を提出を求め、エコドライブの状況把握している。										7.3								13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	冷暖房の設定温度の指示、事務所内待機電力の削減、エコドライブによる排出抑制取組を実施している。										7.2 7.3								12.4	13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	業務遂行上、有害化学物質を扱う事はない為、非該当。				3.9			6.3								11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮したサービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。【予定】地元の小中学校等へ、生物多様性の教育を実施する。具体的には取扱保険会社のMS&ADインシュアランスグループのラン・サークル・サポーターズ等を活用する。						6.6														15	
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等を推進している。																			12.5		14.1
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水使用状況を把握している。また、水利用の削減意識をもって、行動している。【予定】使用量削減の計画を策定する。						6.4 6.6															

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21と同等の基準の取組みを行っていく。			3.9			6	7						12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】エアコンの冷暖房設定温度をHP上で宣言する。その他、環境に関連する取組みについて、HP上で公開する。														12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	暖房器具として、薪(バイオマス資源)を利用した暖炉を使用しており、再生可能エネルギーの利用に努めている。							7.2								13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】非合法材の理解を深め、使用しないことを確認する。														12.2	13	14	15				
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。受領した保険料の精算状況を厳正に管理し、流用費消が起こらない体制を構築している。																		16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。保険料等での競合があった際は、所属保険会社との協議により、公正な保険料提示に努めている。																				16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の保有はしていないが、知的財産保護に関する知識を、社内研修を実施している。									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している。個人データ取扱台帳、役割の設定を行い、個人情報の不正利用・漏えいが発生しない体制を構築している。 ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																				16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	業務上紛争鉱物を取り扱う事がない為、非該当。 ※紛争鉱物の定義については役員は理解している。																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っていく。 生物多様性については所属保険会社のMS&ADインシュアランスグループのラムサールサポーターズを用いて、自社理解、地域社会への理解促進を図っていく。					5				8		10				12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。当社が扱う製品については保険(形が無いもの)である特性上、商品内容の説明、重要事項の説明を確実に遂行している。				3.9											12.4						
29	製品・ サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客様との手続きの際、手続きした保険以外の情報提供(例えば安全運転啓発など)を、お客様の年齢・特性・ニーズに応じたものを必ず提供する様にしている。											9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	当社が製品の開発・設計を行わない為、非該当とする。 ※当社が販売する製品は保険であり、所属保険会社が開発・設計する為、但し、常に世の中のニーズや必要性に応じた製品開発の要望は行っている。							6								12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	あり運転が問題になった際に、保険の特約であるドライブレコーダーのニーズ喚起、販売を行うなど、その時の社会課題に合致するサービスを見極め、解決に努めている。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

